



## 新機能と変更情報

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

### 新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、現行リリースに至るまでにガイドの編成と特徴に加えられた主な変更点の概要を示しています。ただし、今リリースまでのガイドにおける変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1: Cisco Cloud APIC のリリース 25.0(3) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
Cisco Cloud Services Router 1000v から Cisco Catalyst 8000V への移行	Cisco Cloud APIC は、リリース 25.0(3) 以降、Cisco Cloud Services Router 1000v から Cisco Catalyst 8000V に移行します。	
Cisco Cloud Services Router 1000v および Cisco Catalyst 8000V で使用される用語	<p>上記の2種類のルータには、次の用語が使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>CSR</b> : クラウドサービス ルータの省略語です。シスコ クラウドサービス ルータ 1000v を指し、リリース 25.0(3) より前のリリースで使用されました。</li><li>• <b>CCR</b> : Cisco Cloud ルータの略。リリース 25.0(3) 以降で使用される Cisco Catalyst 8000V を指します。</li></ul> <p>さらに、このドキュメント全体で、<b>CCR</b> は、リリースに応じて、上記のいずれかのルータの総称として使用されます。</p>	

機能または変更	説明	参照先
マルチサイト オーケストレータの名前の変更	Cisco ACI マルチサイト Orchestrator (MSO) は、2021年8月15日のMSOリリース3.4.1からCisco Nexus Dashboard Orchestrator (NDO)に変更されました。このCisco Cloud APIC ドキュメントでは、MSOのすべてのインスタンスがNDOになりました。	

表 2: Cisco クラウド APIC リリース 25.0(1) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
Cisco Cloud APIC のリリース番号の変更	リリース 25.0(1) 以降では、Cisco Cloud APIC のリリース番号が変更されています。Cisco Cloud APIC のリリース順序は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 4.1(x) (AWS のみのサポート)</li> <li>• 4.2(x)</li> <li>• 5.0(x)</li> <li>• 5.1(x)</li> <li>• 5.2(x)</li> <li>• 25.0(x) (このリリース)</li> </ul>	
外部接続オプションの更新	リリース 25.0(1) 以降、インフラ VPC/VNet CCR およびクラウドネイティブルータから任意の外部デバイス(別のクラウドネイティブルータを含む)へのIPv4接続がサポートされるようになりました。さらに、同じクラウド内のクラウドネイティブルータ間、または2つの異なるクラウドベンダー間の外部接続のサポートも利用できます。	

機能または変更	説明	参照先
ルーティングとセキュリティポリシーを個別に構成するためのサポート	リリース 25.0(1) より前のリリースでは、ルーティング ポリシーとセキュリティ ポリシーはコントラクトによって緊密に結合されていました。リリース 25.0(1) 以降、ルーティングとセキュリティ ポリシーを個別に構成するためのサポートが利用できるようになりました。	



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。